令和６年度第１回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会会議録

議題	（１）患者支援センターの業務実績について （２）がん相談支援センターの業務実績について （３）救急搬送状況について （４）令和６年度地域医療支援行事一覧（仮）について （５）循環器内科HOT LINE集計表について （６）茅ヶ崎市立病院登録医制度実施要綱について （７）茅ヶ崎市立病院本館改修後について （８）その他
日時	令和６年７月１０日（水）　午後７時００分　開会 午後８時００分　閉会
場所	茅ヶ崎市立病院　第１・２・３会議室（講堂）
出席者氏名	髙山慶一郎委員長、下里隆史副委員長、長岡健介委員、山口哲也委員、横山大樹委員、大木教久委員、大久保敦子委員、勝山貴美子委員、濵卓至委員、廣瀬俊之委員 事務局(中沢病院事業管理者、藤浪病院長、栗山副院長、岩澤副院長兼事務局長、益原診療部長兼患者支援センター所長、中戸川診療部長、山岡看護部長、平山患者支援センター担当長、岡野がん相談専従看護師、高瀬医事課長、髙橋医事課主査、清野医事課主事)
資料	・地域医療支援委員会次第 ・資料１－１　令和５年度　紹介率・逆紹介率 ・資料１－２　令和５年３月診療科別紹介率・逆紹介率 ・資料１－３　令和５年度　茅ヶ崎市立病院　紹介元・逆紹介先医療機関一覧 ・資料１－４　令和５年度　予約検査実績 ・資料１－５　令和５年度　相談日誌（延件数） ・資料１－６　令和５年度　地域医療機関と連携した研修会等実績 ・資料１－７　令和５年度　登録医救急診察専用回線による紹介患者集計表 ・資料２　令和５年度　がん相談支援センター実績報告 ・資料３－１　令和５年度　医療機関別救急車搬送患者受け入れ状況 ・資料３－２　茅ヶ崎市消防　令和５年度茅ヶ崎市立病院搬送状況 ・資料４　令和６年度　地域医療支援行事一覧（仮）について ・資料５　循環器内科HOT LINE集計表について ・資料６　茅ヶ崎市立病院登録医制度実施要綱について ・資料７　茅ヶ崎市立病院本館改修後について
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	０名

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
定刻となりましたので、令和 6 年度第 1 回茅ヶ崎市立病院地域支援員委員会を始めさせていただきます。
私は本日の司会進行を務めさせていただきます、患者支援センターの益原でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
それでは、令和 6 年度第 1 回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会を開会いたします。
本日は、皆様お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。委員 10 名に対し、本日 10 名の委員に出席いただいており、茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会規程第 5 条第 2 項の規定により会議が成立しておりますことをご報告いたします。
なお、本日は参考資料 1 として委員名簿と席次表を机上に配布しております。また、事前に地域医療支援委員会の次第とともに、皆様へ送付いたしました資料として、資料 1-1 から最後の参考資料まで 15 点ございます。
不足している資料は皆様ございませんでしょうか。途中でも結構ですのでもし不足がありましたらどうぞお申し出ください。
それでは開会にあたり、中沢病院事業管理者よりご挨拶を申し上げます。
よろしくお願いいたします。

●事務局（中沢病院事業管理者）
病院事業管理者の中沢でございます。本日は大変お忙しいところ、今年度第 1 回目の地域医療支援委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。
以下着座で失礼させていただきます。日頃より皆様方には市立病院の運営にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。
今回、改選後初めての委員会というところでございますが、この委員会自体は以前は対面で開催していて、しばらくコロナで Zoom になっていたんですが、久しぶりの対面というところで、また先生方には委員をお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。
医師会の先生方 5 名と歯科医師会薬剤師会から 1 名ずつと、今回新たに横浜市大の勝山先生と、茅ヶ崎市からは保健所長、また広瀬救命担当課長さんにも委員に加わっていただきまして、活発にご議論いただくこととさせていただきました。
どうぞよろしくお願いいたします。
茅ヶ崎市立病院も平成 24 年、2012 年に地域医療支援病院として認定されまして 12 年目という形になります。
この間、診療科も 23 から 28 に増やし、また平成 30 年 4 月には県のがん診療連携指定病院に指定されて、がん対策を強化して参りました。
また、地域医療連携室から患者支援センターにリニューアルするとともに、救急診療専用回線ですとか、循環器内科のホットラインの設置など、利便性を図りまして、紹介率も検査予約件数も徐々に上昇してきているところでございます。
昨年度は、経営形態が地方公営企業法の全部適用になったところでございますが、6 年度からの 4 年間の経営計画を策定するとともに、院内では新たに手術支援ロボットの導入ですとか、放射線治療機器の更新、また、眼科外来手術室や救急外来のリニューアルなど、本館の改修にも取り組んだところでございます。

本日は、まず最初に委員長と副委員長を互選していただいた後に、患者支援センターとがん相談支援センターの実績とともに、救急搬送件数の推移など、地域医療支援病院としての業務遂行状況についてご報告させていただき、ご議論していただくこととしております。
どうぞ忌憚のないご意見を賜ればと思います。
本日はどうぞよろしくお願いいたします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
ありがとうございます。
続きまして、机上に置かせていただきました参考資料 1 に沿って、委員の皆様をご紹介させていただきます。
茅ヶ崎医師会会長の髙山慶一郎様でございます。

○髙山委員
どうも髙山です。よろしくお願いいたします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
茅ヶ崎医師会副会長の長岡健介様でございます。

○長岡委員
長岡です。よろしくお願いいたします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
茅ヶ崎医師会副会長の山口哲也様でございます。

○山口委員
茅ヶ崎医師会の山口です。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
茅ヶ崎医師会医師会理事の横山大樹様でございます。

○横山委員
横山です。よろしくお願いします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
茅ヶ崎医師会の大木教久様でございます。

○大木委員
よろしくお願いします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
茅ヶ崎歯科医師会会長の下里隆史様でございます。

○下里委員
はい、下里隆史です。よろしくお願いいたします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
茅ヶ崎寒川薬剤師会会長の大久保敦子様でございます。

○大久保委員
はい。大久保です。よろしくお願いいたします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
横浜市立大学看護管理学分野教授の勝山貴美子様でございます。

○勝山委員
横浜市立大学の勝山と申します。今期からです。どうぞよろしくお願いいたします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
茅ヶ崎市保健所所長の濵卓至様でございます。

○濵委員
保健所長の濵です。いつもお世話になっております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
茅ヶ崎市消防本部警防救命課救命担当課長の広瀬俊之様でございます。

○廣瀬委員
救命担当課長の広瀬でございます。よろしくお願いいたします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
続きまして事務局職員をご紹介いたします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
病院事業管理者の中沢でございます。

●事務局（中沢病院事業管理者）
中沢です。どうぞよろしくお願いいたします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
病院長の藤浪でございます。

●事務局（藤浪病院長）
病院長の藤浪です。よろしくお願いいたします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
副院長の栗山でございます。

●事務局（栗山副院長）
副院長の栗山です。よろしくお願いします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
事務局長の岩澤でございます。

●事務局（岩澤事務局長）
事務局長の岩澤でございます。どうぞよろしくお願いします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
なお、その他の事務局出席者につきましてはお手元にお配りしております委員名簿により、紹介に代えさせていただきます。
それでは事務局を代表いたしまして、病院長の藤浪よりご挨拶を申し上げます。
お願いします。

●事務局（藤浪病院長）
先ほど病院事業管理者の中沢からお話があった通りですね、今年度からまた新たにメンバーで始まるということで、当院が地域医療支援病院として、どのような活動をしているか、また、その活動において皆様方のご意見を承ればと思いますので、よろしくお願いいたします。
当院の内容としましては、昨年ダヴィンチを導入いたしまして、7 月から泌尿器科と外科で行っております。
泌尿器科は前立腺で外科は直腸結腸を行っておりまして、大体 3 月までで泌尿器科が 21 件、外科が 35 件行いました。
今年度はですね、さらに泌尿器の膀胱の手術も加わって、あとは外科はで胃癌の手術もやる予定にしております。
さらに胸部外科において縦隔の手術も行う予定にしていますので、ますますいろいろ症例を増やしていきますので、皆様方から患者さんがいればご紹介いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
最後の方に本館改修後について説明等もありますので、当院がどのように改修したかも含めて見ていただければと思います。本日はよろしくお願いいたします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
ありがとうございます。
それでは議題に入らせていただきます。茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会規程第 4 条第 2 項の規定により、委員長が本審議会を代表することとなっておりますが、委員長が決定するまでの間、事務局長の岩澤が仮委員長を務めさせていただきたいと考えておりますがいかがでしょうか。

〇委員一同
異議なし

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
ありがとうございます。それでは岩澤事務局長よろしくお願いいたします。

●事務局（岩澤事務局長）
はい、それではご承認をいただきましたので、仮委員長として会議の進行を務めさせていただきます。
委員長の役割といたしましては、委員会の会務を総理し、委員会を代表していただきます。
また副委員長につきましては、委員長を補佐し委員長に事故などがあるとき、または委員長が欠けたときはその職務を代理していただくこととなります。
茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会規程第 4 条第 1 項の規定により、委員長及び副委員長は、委員の互選により定めることとなっておりますが、皆様ご意見いかがでしょうか。

〇大木委員
医師会の大木ですけども、これまでの実績を考えて事務局に一任という案はいかがでしょう。

〇委員一同
異議なし

●事務局（岩澤事務局長）
はい。ありがとうございます。
皆さんから異議なしということでございますので、事務局から案はございますでしょうか。

●事務局（平山担当長）
事務局といたしましては、委員長を茅ヶ崎医師会会長の高山委員、副委員長を茅ヶ崎歯科医師会会長の下里委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

〇委員一同
異議なし

●事務局（岩澤事務局長）
はい。では異議なしということでございますので、高山委員様、そして下里委員様、お引き受けい

ただけますでしょうか。

〇髙山委員、下里委員
同意

●事務局（岩澤事務局長）
ありがとうございます。それでは高山委員におかれましては委員長席へ、下里委員様におかれましては、副委員長席への移動をお願いしたいと思います。
私はここまでで任を下りさせていただきたいと思います。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
はい。それでは高山委員、下里委員、委員長及び副委員長の就任誠にありがとうございます。
なお、本日の審議会ですが、茅ヶ崎市の要綱により、会議が終了した日から 2 日以内に、会議の概要の公表。45 日以内に会議結果を公表することとなっております。
それでは、委員長より一言ご挨拶をお願いいたします。

〇髙山委員長
はい。茅ヶ崎医師会会長の高山です。
市立病院と私は本当、個人的には 1999 年から 2014 年まで診療をさせていただきまして、婦人科部長としても一生懸命やらせていただきました。
その後、会議をしてこの様な立場になると夢にも思わなかったのですけれど、今回青天の霹靂と言いますか委員会の委員長ということになりました。
いろいろあると思いますが、皆さん議事の進行等、よろしくご協力をお願いいたします。
それでは議題に入りたいと思います。
まずは議題両括弧 1、患者支援センターの業務実績について、事務局より説明をお願いいたします。

●事務局（平山担当長）
それでは、令和 5 年度患者支援センターの業務実績について説明させていただきます。
患者支援センター平山です。どうぞよろしくお願いいたします。
資料 1－1 をご覧ください。令和 5 年度、紹介率、逆紹介率の表となります。令和 5 年度の紹介率の平均は 69.9%。逆紹介率の平均は 98.9%です。
令和 4 年度と比較して、紹介率は 5.9 ポイント増、逆紹介率は 12.9 ポイント増加しています。地域医療支援病院の承認要件である紹介率 65%以上、逆紹介率 40%以上の基準を満たしております。
資料 1－2 をご覧ください。令和 5 年度、診療科別紹介率、逆紹介率の表です。右上にある年度累計の欄をご覧ください。
紹介率は放射線診断科が 99.8%、眼科が 94.7%、呼吸器外科が 88.9%。リウマチ膠原病内科が 88.6%の順になっており、また逆紹介率は呼吸器外科、代謝内分泌科、腎臓内科の順になっています。
資料 1－3 をご覧ください。令和 5 年度の紹介元、逆紹介先、医療機関一覧です。紹介元医療機関名と紹介患者数、そのうち検査件数、前年度実績、前年度比をあらわしています。
紹介元はやまもと内科クリニック、藤川整形外科、大木医院の順に多くなっています。

逆紹介先医療機関はやまもと内科クリニック、大木医院、藤川整形外科の順に多くなっています。
前年度と比較して紹介患者数が最も増加したのは、19 番の湘南いしぐろクリニックの 96 人増で、令和 5 年春に開業された 23 番の寒川こどもとアレルギーのクリニックから 181 人の紹介がありました。引き続き対象の患者さんがいた場合、患者支援センターにご連絡ください。
続いて資料 1－4 をご覧ください。令和 5 年度の予約検査の件数表です。CT、MRI については、検査需要が高く推移しています。
前年度と比較して顕著に増加している検査は、甲状腺エコー、心臓エコー、脳波、ホルター心電図です。
内視鏡検査におきましては、紹介状に 1 年後再検のコメントがある場合に、紹介元にお知らせを送付させていただいております。令和 5 年度は 70 件紹介依頼を送付しうち 11 件の紹介がありました。
資料 1－5 をご覧ください。令和 5 年度月別相談延べ件数表です。相談対応は看護師と社会福祉士が行っています。
相談対応延べ総数は、新規と継続を合わせた 10,272 件で横ばいとなっています。
相談内容の多い項目としては、在宅退院に向けての退院相談が最も多く、4,316 件、次に転院に向けての退院相談が 3,007 件、続いて社会福祉制度の相談が 1,943 件となっています。
がん患者の相談は 1,126 件で、後に報告しますが相談支援センターの相談とは別になります。
対応方法は電話での相談対応が 5,211 件と最も多く、対面での相談件数は 3,434 件。IC 同席が 725 件となっています。
新型コロナ感染症が 5 類に移行した、令和 5 年度の院外関係者とのカンファレンスの件数は 116 件であり、令和元年度とのカンファレンス件数 221 件と比較すると、まだ回復していない状況です。
資料 1－6 をご覧ください。令和 5 年度、地域医療機関と連携し茅ヶ崎市立病院で開催した研修会等の実績です。合計 26 回開催しました。令和 5 年度は初めて歯科口腔外科病診連携会を開催することができ、継続的に開催できるよう準備を進めて参ります。
続いて資料 1－7 をご覧ください。令和 5 年度の登録医救急診察専用回線の対応件数となります。
対応件数は 505 件で、前年度より 176 件増加しました。そのうち入院に繋がったケースは 210 件で、昨年度と比較すると、90 件の増加となり、入院割合は約 42%となりました。
令和 5 年度は、小児感染症の流行により入院患者数が増加しております。救急診察専用回線の入電時間は午前中の入電が多く、次いで午後は 15 時から 17 時台が多くなっています。
報告は以上です。

○髙山委員長
説明が終わりました。
議題（1）について、委員の皆さんからのご意見、ご質問をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○大木委員
はい。

○髙山委員長
大木先生どうぞ。

○大木委員
資料 1－5 のところですが、相談件数で令和 4 年度と令和 5 年度の差が退院相談のところで、転院が逆に令和 4 年度、3,600 から 3,000 に減って、在宅が約 4,000 から 4,300 に増えているんですね。これは非常に重要なことで、急性期の市立病院から、このように転院という形よりは在宅つまり茅ヶ崎医師会の在宅をやってる先生方に紹介が増えてるという印象を僕ら持ってるんですけど、実際こういったような傾向、転院よりも在宅という正しい道っていうんですかね、そういうような傾向というのは市立病院としては把握されてるんでしょうか。

○髙山委員長
病院の方のご意見はいかがでしょうか。

●事務局（平山担当長）
ご質問ありがとうございます。増えている印象は持っております。

○髙山委員長
益原先生どうぞ。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
患者支援センター所長の益原です。
コロナのときにやはり施設に移ってしまうと家族の面会もままならないということがちょっと長い時間続きましたので、その時期からやはり皆さん転院よりは在宅という方向を選ぶことが、できたら在宅っていう方向にいってるように感じております。

○髙山委員
どうも先生ありがとうございました。
他に何かご質問ございますでしょうか。ではないようなので、議題 1 については終了したいと思いますがいかがでしょうか。ご意見がないようなのでこれで終了とさせていただきたいと思います。
続いて議題（2）のがん相談支援センターの事業実績について、事務局より説明をお願いいたします。

●事務局（岡野看護師）
はい、がん相談支援センターを担当しております、がん相談専従看護師の岡野です。よろしくお願いします。着座にて失礼いたします。
それでは、令和 5 年度がん相談支援センターの業務実績についてご説明いたします。
資料 2 をご覧ください。
一番上の表をご覧ください。相談件数は 1 年間で延べ 1,212 件、前年度より 382 件増加しました。2 の支援方法は、対面相談が 992 件、電話相談が 220 件です。4 の相談依頼ルートについては、患者ご本人が最も多く、550 件、続いて、医師からの依頼が 349 件。ご家族が 139 件、看護師よりが 99 件ありました。
次のページをご覧ください。5 番、相談内容の内訳については、不安・精神的苦痛が 818 件、

症状・副作用・後遺症の相談は 813 件、がんの治療について 613 件、在宅医療 191 件、ホスピス・緩和ケア 105 件でした。
相談内容は、不安・精神的苦痛とともに症状・副作用・後遺症などが多く、検査結果が出るまで心配で、どのように過ごしたらいいのか、家族は患者にどのように接したらいいのか、食事は普段通り食べさせてよいのかなど、日常生活の細かなところが心配になり繰り返しこられる方もいらっしゃいました。
お話をお聞きしながら、少しでも不安が軽減できるように努めています。
また、相談内容の中で看護記録に残せるものは残したり、医療者と共有することもあります。
その場合、相談者の許可を得て行うようにしています。
今後もがん相談支援センターの支援内容を知ってもらえるように周知活動を続けていきたいと考えます。
説明は以上になります。

〇髙山委員長
はい、説明が終わりました。
議題（2）について、委員の皆様からのご意見ご質問をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〇大木委員
はい。

〇髙山委員長
大木委員お願いします。

〇大木委員
前からこれちょっと思ってたんですけど相談依頼ルートが医師っていうのが多いじゃないですか。内容を見ると、患者さんの不安を呈するようなものが多く上がってるんですけど、これ非常に相談ルートってすごい重要だと思うんですけど、どういった形で医師からの相談ルート依頼っていうのがあるのかっていうのは内容をちょっと知りたいなと思うんです。

〇髙山委員長
お願いします。

●事務局（岡野看護師）
はい。ご質問ありがとうございます。
医師からの相談ルートに関しては主に外来の患者さんで接することが多いんですが、病理の結果が出たりするときに同席をして欲しいというところで入ってくるっていうところが多いです。
あとは患者さんが相談にこられて、どこからお聞きになりましたかって、尋ねると先生が相談に行ってみたらとか、という形が一番多いような気になります。

○髙山委員長
どうもご説明ありがとうございました。
他に何かご質問等ございますでしょうか。どちらか、濵先生からでよろしいですか。

○濵委員
相談内容で不安・精神的苦痛が 1 番目に多いということですが、市立病院では臨床心理士や緩和ケアチームといった専門職が精神的なケアをされてるのかどうか教えてください。

○髙山委員長
事務局より説明をお願いします。

●事務局（岡野看護師）
はい。ありがとうございます。
当院にも緩和ケアチームというのがございまして、例えばがん相談でお話を聞いて、やはり緩和ケアチームに繋いだ方がいいなという場合はそちらの方につなぐような形になっております。
それと臨床心理士に関しては当院にはいないんですが、県の事業で臨床心理士の派遣事業というのがありまして、今までは婦人科ですとか乳癌女性などの疾患に関することだけしか入ってこられなかったんですけども、今年度から全部のがんで男女問わずというようになっているので、場合によってはその事業の臨床心理士さんにつないでということもやっています。
以上です。

○濵委員
そうしますと、緩和ケアチームには心理士は不在で、精神的なサポートは精神科医がされているという理解でよろしいですか。

●事務局（岡野看護師）
はい。ただし精神科の先生は非常勤になっていますので、普段からの不安とかそういうところの対応に関しては、やはり緩和ケアチームですとかがん相談などで関わるですとか、あとは病棟の先生とも共同して関わっていくような形をとっています。

○濵委員
そうしますと診療報酬で緩和ケア診療加算を算定していないという理解でよろしいですか。
精神科医が実施しないと算定できないですので。

●事務局（岡野看護師）
はい。

○髙山委員長
では勝山委員、どうぞ。

○勝山委員
はい。たくさんの相談を受けてくださってるということがよくわかりましたが、1 回で済まずに 5 回来てる方が 80 名おられる。
内容を見ますと、やはり不安症状・副作用等のところでの不安ということで、今の緩和ケアチームというところとも関係するかもしれないんですが、看護師さんが聞くだけでは解決できないような問題もあるのではないかというふうに考えますと、病院としての体制っていうところをどのようにお考えになってるのか、アイデアがあるようでしたら教えていただけたらと思います。

○髙山委員長
事務局よりご説明お願いします。

○勝山委員
すいません。
あと、5 回以上が 80 というのは 80 回相談をしたということで 80 人いたということではない、ということですかね、これは。
だから 5 回以上の人が最低 16 人未満だったということですかね。

●事務局（岡野看護師）
この表、棒グラフですいません。1 人の患者さんがそうですね、多い方だと 30 回以上来られる方もいらしたりですとか、本当に最初の診断のときからお亡くなりになるところまでっていうことで患者さんもそうなんですが、ご家族も含めてというふうに数えていくと回数が多くなって結局のところ 5 回以上の方が何名というふうにカウントしていくと、そのような形になっていきました。

○髙山委員長
そうですか。大丈夫でしょうか。
そしたら、他に議題についてのご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

●事務局（平山担当長）
すいません。
事務局ですが、先ほどの質問にお答えする形でよろしいですか。認定看護師の育成というところは看護部でも力を入れてるところでありまして、そういうことで院内で対応できるようにしていきたいというふうに考えております。

○勝山委員
わかりましたありがとうございます。

○髙山委員長
他に質問がないければ、議題 2 については終了したいと思いますがいかがでしょうか。
では、異議ないようなので終了とさせていただきます。
続いて議題 3 救急搬送の状況について、事務局より説明をお願いいたします。

●事務局（高瀬医事課長）
はい。続きまして議題3、救急搬送状況についてご説明をいたします。
医事課長の高瀬と申します、着座にて失礼いたします。
資料は資料3－1、それから資料3－2でございます。
まず資料3－1上段の表をご覧ください。
こちらは茅ヶ崎市消防の救急搬送件数を、搬送先の医療機関ごとに月別で集計したものでございます。
表の右側、年度累計の欄をご覧ください。こちらは令和5年度と令和4年度の実績を合計数と割合で表したものでございます。
茅ヶ崎市消防の全体搬送件数が前年度の1万5,862件から、1万7,137件と1,275件増加しておりますが、当院への搬送件数、一番上の欄になりますが、前年度5,159件から4,667件と492件減少しており、割合についても32.5%から27.2%に5.3ポイント減少しているところでございます。
茅ヶ崎市消防からの救急車受け入れにつきまして、他の医療機関に比べ一番高い状況ではございますが、令和5年度の搬送実績が、ご覧いただくとおり増加しているにもかかわらず、受け入れの件数は減ってしまったというような状況でございます。
搬送件数の減少につきましては、常勤の脳神経外科が不在でありまして救急対応が取れなかったところの影響が大きいというふうに考えているところでございます。
同じページ下段の表をご覧ください。
こちらは、診療科別の救急車受入件数と受け入れた患者のうち、入院となった数を表したものとなっております。
こちらにつきましては、茅ヶ崎市消防だけではなく、すべての救急車の受け入れという形になっております。
一番下の入院率の欄をご覧ください。
各月とも30%を超えておりまして、右側の年度累計になりますが、前年度28.7%から36.5%と7.8ポイント増加しているところでございます。
全体の受入数の前年度との比較につきましては、前年度5,404件から4,876件と528件減少しておりますが、入院数につきましては前年度1,553件から1,779件と、226件増加いたしました。
ページをめくっていただいて、次の資料3－2をご覧ください。
こちらは、令和5年度の茅ヶ崎市消防による茅ヶ崎市立病院への搬送件数と割合を地区別に分類したものでございます。
茅ヶ崎市立病院は、地区別で言いますと茅ヶ崎地区、本村にございますので茅ヶ崎地区になりますが、隣接するところは松林地区というところになっております。
資料一番下の合計の欄をご覧ください。一番右の27.2%が、市立病院に搬送された割合でございまして、すいません前回出席されていない委員の方には恐縮でございますが、前回報告時は27.7%でございますので、0.5ポイント減少しているところでございます。
地区別の比較につきましては、左側から茅ヶ崎地区が22.9%、鶴嶺地区が27.2%、松林地区が33.1%、小出地区が3.9%、寒川地区が12.8%となっておりまして、隣接する松林地区からの搬送が多い状況となっております。
資料3についての説明は以上となります。

○髙山委員長
それでは、議題 3 についての説明が終わりました。
皆様からのご意見、ご質問等、何かございますでしょうか。

○大木委員
はい。

○髙山委員長
大木委員お願いします。

○大木委員
この、救急搬送の数が減ってるというとこで、先ほどコメントがあったとおり脳神経外科の常勤がいないということが一番問題だっていうことなんですが、内訳としてはどうなんでしょう、僕も脳神経系なんですけども、実は脳神経外科だと外科系、外傷系だと思われがちなんですが、実は脳梗塞の急性期、ここの搬送が多分減ってるんだと思うんですね。
これも非常に重要で、実は湘南地区では、茅ヶ崎市立病院のほかに茅ヶ崎市内では湘南東部総合病院に脳神経外科がありまして、そこがかなり受け入れるんですね。やはり市立病院は脳神経内科は確かに 3 人常勤いらっしゃるんですけども、今年 1 人の脳神経外科医が入ったんで、もう 1 人、脳神経外科が入らないと多分、TPA ですとか血管内のカテーテル治療っていうんですかね、非常にここは今急性期病院としては注目されているところなので、やはり脳神経内科の先生方は多分、脳神経外科の先生がもう 1 人いれば受け入れられるんじゃないかというふうにおっしゃってるのは我々も聞くので、是非ともやはり脳神経外科のもう 1 人確保というのが非常に重要なんじゃないかなというふうに思いますし、僕らも市立病院に送りたいんだけどというようなときが結構ありますので、ぜひご検討お願いいたします。

○髙山委員長
なかなか人の問題というのは難しいと思いますが、多分病院としても取りたいのは山々だとは思いますけども、なかなか適材適所というのは難しいと思うんですけど。いかがでしょうか。

○髙山委員長
藤浪先生。

●事務局（藤浪病院長）
はい。病院長の藤浪ですけども、ご支援、ご声援ありがとうございます。
髙山先生のおっしゃるように、なかなか人員の確保というのは難しく、特に今年度から働き方改革もできて、医局が人員を出すということが難しい状況なってます。
ただ、当院の脳神経外科医が不在となったのは働き方改革の前年ですけど、大学でも様々な診療科で、どうしても入局者が少なくなってしまい医局員が少ない状況があるんですね。当院も横浜市大から脳神経外科医の常勤を出していただいていたのですが、今年度から 1 名来た医師は医局を出た先生なので、医局から派遣ではない形できてますので、今後増やしていけるように医局にはその都

度お願いには行っているんですけども、何とか皆さん方のご期待に沿えるような形では進めていきたいと思いますので、今後もご支援よろしくお願いいたします。

○髙山委員長
今後とも、ぜひよろしくお願いいたします。その他、何か。

○廣瀬委員
はい。

○髙山委員長
どうぞ。

○廣瀬委員
はい。茅ヶ崎市消防の救命担当の廣瀬でございます。
大木先生ありがとうございます。いろいろ脳神経外科の関係でですね、救急隊も病院選定にすごく苦慮してるとこでございますけども、今お話ありましたように湘南東部さんが今脳神経外科を積極的に受け入れいただいてますけども、この 7 月に市立病院から連絡がございまして、脳外や脳神経内科の先生が土日とあと夜間もオンコールということで、救急隊は今よりもっと市立病院に運ぶのではないかという予測は立っております。
また、それだけが減った原因ではなくてですね、恐らく昨年度はコロナの関係もございまして、神奈川モデルの高度医療機関に含まれていた関係もありまして、市立病院が積極的にコロナの患者を多く入れて、引き受けてくださっていたんですね。その関係で、昨年 5 月にコロナが 5 類へ下がった関係で患者が減ったこともあって搬送数が減ったというのも大きな原因になってるのかなと思っております。
ですので、昨年度は比較的、市立病院の搬送件数が令和 3 年よりも上がってる感じだと思われます。今、やっと昨年度で今までの水準に戻ってきたのかなというような感想を消防の方では思っています。
以上でございます。

○髙山委員長
広瀬委員、どうもありがとうございました。
その他、何かございますでしょうか。
どうぞ、山口委員。

○山口委員
今、搬送のことで消防の現場の状況で、コロナの患者さんによるところが大きいというお話をいただいたんですが、例えば総合内科の受入数は搬送件数は 1,911 件から 1,545 件と大分減ってるんですけども、入院数は逆に増えている。
つまり、軽症の患者さんがかなり減っているという印象なんですが、これもやはりコロナの影響の数字と考えてよろしいでしょうか。

○廣瀬委員
はい。廣瀬でございます。先生のおっしゃる通りなんですが、コロナのときには先生たちの検証所見ですか、これが軽症ではなく中等症と書かれることが結構多くてですね、それがだんだん少なくなっておりまして、これらの患者さんも今は軽症がつくようになった、と言うのが現状でございます。

○山口委員
ということは市立病院サイドとしても、通年で見た場合の入院パーセンテージですね、例えば今年度 36%の入院率、前年度は 28%、これは何といいますか、たまたま今回が上がったというよりは元に戻ったという解釈なんでしょうか。かなり大きい差かなと今思ったんですけども。

○髙山委員長
藤浪院長、お願いします。

●事務局（藤浪病院長）
病院長の藤浪がお答えいたします。まさに総合内科の受け入れ数というのはコロナの影響が相当ありまして、コロナも、入院しないで帰る方も相当多かったので、その分昨年度は全体数が多いけども、入院数が少なかったというのがあります。
もう 1 つは、私が病院長になってから医療安全上、救急車で運ばれてきた方が、帰した後に悪化して再度来るというようなケースが何例かありましたので、できれば入院を勧めて、翌日でも翌々日でも、みんなの目で見て、大丈夫だということを判断してから退院させるようにというような指示を出しましたので、少し増えたという面もあると思います。
以上です。

○髙山委員長
どうも藤浪先生ありがとうございました。
その他何かございますでしょうか。
ではないようなので、これで議題 3 に関しては終了にしたいと思いますがいかがでしょうか。
異議なしということなんで議題 3 を終了とさせていただきます。
続いて、議題（4）令和 6 年度、地域医療支援行事一覧について事務局の説明をお願いいたします。

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）
はい。では資料の 4 をご覧ください。
患者支援センター所長の益原がご説明いたします。
表の一番左、こちらが本日、皆様にご出席いただいております地域医療支援委員会関係の日程表となっております。
後程事務局から、今後の日程についてご相談申し上げます。
その隣が各科で行っております研修症例検討会、いつも医師会の先生方にご協力いただいてありがとうございます。
それから連携パス協議会、広報、7 市の連携懇談会、在宅医療介護連携推進事業、それから多職種

連携研修会検討委員会、さらに多職種連携研修会、これだけの地域医療支援行事を今年度も粛々と進めて参る予定でございます。
事務局からの説明は以上です。

○髙山委員長
はい。
説明が終わりました。
議題（4）について、委員の皆様からのご質問ご意見等をお伺いしたいと思いますけど、いかがでしょうか。
では特にないようなので、議題 4 についてはこれで終了にしたいと思いますが、いかがでしょうか。
では、議題 4 はこれにて終了とさせていただきたいと思います。
続いて、議題 5、循環器内科ホットライン集計表について、事務局より説明をお願いします。

●事務局（髙橋医事課主査）
はい。事務局、高橋が説明させていただきます。資料 5 をご覧ください。
循環器内科ホットラインの集計表でございます。
こちらはですね、令和 4 年度の 10 月より再開しておりまして、令和 5 年度 1 年間を令和 4 年度の途中からと比較した表になっております。
令和 5 年度の実績は 37 件となっておりまして、そのうち入院となった件数は 21 件となっております。入院割合といたしましては 56.7%となります。
また、4 年度と比べ、こちらは月当たりの件数で比較したところ、月あたり 2.5 件から 3 件へと 0.5 ポイント増加しております。少しずつではございますが、循環器内科のホットラインが認識されつつあるのではないかなというふうに思っております。
しかしながら、さらに地域の先生方に身近に感じていただく必要があるということを認識しているところでございますし、前回の地域医療支援委員会でも出た議題にはなるかと思いますますが、マグネットの作成をしていきながら、PR していこうかなというふうに思っております。
説明は以上でございます。

○髙山委員長
説明が終わりました。議題 5 について、委員の皆様からのご意見ご質問をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。
では、特にないようなので、議題 5 についてはこれで終了にしたいと思いますが、いかがでしょうか。
では、以上をもちまして、議題 5 を終了とさせていただきたいと思います。
続いて議題 6、茅ヶ崎市立病院登録医制度実施要綱について事務局より説明をお願いいたします。

●事務局（髙橋医事課主査）
はい。続きまして、再度事務局高橋より説明させていただきます。
茅ヶ崎市立病院の登録医制度実施要綱でございますが、資料 6 をご覧ください。
要綱の見直しにつきましては、前年度からの課題でありました。従前より登録医制度実施要綱は制

定していたのですが、登録医の先生方が利用できる共同利用について明記がされていなかったところがございました。
つきましては、共同利用について適切に明記した改訂を行い、先生方に登録医となっていただこうと考えております。
説明は以上でございます。

〇髙山委員長
説明が終わりました。
議題6について、委員の皆様からのご意見、ご質問をお伺いしたいと思いますがいかがでしょうか。
では特にご質問等ないようなので議題 6 については終了したいと思いますけど、いかがでしょうか。
では、議題6を、は、以上をもちまして終了とさせていただきます。
次、議題（7）、茅ヶ崎市立病院本館改修後について、事務局より説明をお願いいたします。

●事務局（髙橋医事課主査）
はい。事務局高橋より説明させていただきます。
茅ヶ崎市立病院本館改修後について資料7をご覧ください。
令和5年10月に本館改修工事がすべて終了いたしました。別棟工事開始から数えますと、別棟工事が平成29年7月から着工し、令和元年の7月に竣工しております。その後、令和3年3月から本館改修工事が始まりました。途中、新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、すべて完了するまで約6年かけて別棟本館改修工事を終了しております。
今回、写真にお示しさせていただきましたエリアにつきましては、令和4年2月に完成した外来化学療法室や、令和5年10月に完成した救急エリアのリニューアル後、外来に新たに整備した眼科外来手術室をお示しさせていただいております。
なお、令和6年度から、リニューアルいたしました救急外来エリアを活用して、救急救命士の方々の再教育実習を開始しております。
説明は以上でございます。

〇髙山委員長
説明が終わりました。
議題7について、委員の皆様からのご意見ご質問等はございますでしょうか。
では、特にないようなので、議題7については終了したいと思いますけどいかがでしょうか。
では議題7については、これをもちまして終了とさせていただきます。
続いて議題8その他について、地域医療支援委員会開催日程について事務局より提案があります。
事務局より説明をお願いいたします。

●事務局（髙橋医事課主査）
はい。令和6年度の地域医療支援委員会の開催日の日程についてでございますが、この場の席をお借りしまして、2回目、3回目、4回目の日程を決めさせていただければというふうに考えております。

事務局の案といたしましては、第2回目が令和6年10月10日木曜日、第3回が令和6年12月20日金曜日、第4回が令和7年3月14日金曜日となって考えております。
開催方法につきましてはオンラインもしくはハイブリッドというような形を考えていますが、各委員の皆様のご意見等ございましたら、お聞かせいただけると幸いでございます。
また、先生方へ開始時間等も含めまして、現在は19時からの開始となっているんですが、過去にお昼の時間帯も開催していた経緯もございます。開催時間も含めて何かご意見をいただければ幸いでございます。
以上でございます。

○髙山委員長
すいません。もう1回、日程を教えてください。

●事務局（髙橋医事課主査）
はい。
第2回目が令和6年10月10日。
第3回目が令和6年12月20日。
第4回目が令和7年3月14日というふうに考えております。

○髙山委員長
はい。どうもありがとうございました。
皆さん、まず1つは今提案があったのは、開催の方法、Web等の併用か、それともWeb単独か或いは参集かという提案と、あとそれからもう1つは開催日について大体これでいきたいということと、開催する日に関して開催時間帯について提案があったと思いますが、皆様いかがでしょうか。

○濵委員
はい。

○髙山委員長
濵先生どうぞ。

○濵委員
日程の方はスケジュールを見ないと即答できないのですが、開催方法はできればオンライン併用のハイブリッドかオンラインの方が個人的には助かります。
以上です。

○髙山委員長
オンラインまたはハイブリッドというご意見が出ましたけど、その辺いかがでしょうか。
特に反対の方はいらっしゃらないようなので、開催方法についてはオンラインのみか或いはハイブリッドということでお願いしたいということです。
あとは、開催の時間帯ですね。昼の時間帯で行うのか、夜の時間帯で行うのかと、何か委員の皆様

のご意見はいかがでしょうか。

〇大木委員
はい。以前の委員会で昼開催があったのですが、やはりなかなか午前中の診療が昼にかかってしまって、召集がうまくいかないという経緯があったので、やはり夜の時間体に落ち着いてるところがあります。ですので、夜の開催がいいかなというふうに思っております。

〇髙山委員長
他委員の先生方のご都合はいかがでしょうか。
夜の開催で特にご異存はございませんでしょうか。
では、開催の時間帯としては今後も夜ということでお願いしたいと思います。
よろしくお願いいたします。
あとは、開催日につきましては、各自お帰りになって自分の予定を確認し、ご出席をよろしくお願いいたします。
その他、何かございませんでしょうか。
では、ないようなので本日の議題はすべて終了といたしました。
皆様のご協力ありがとうございました。
以上をもちまして、令和 6 年度第 1 回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会を終了いたします。
どうもお疲れ様でした。